



農大二中進路通信

令和5年6月19日(月)
第8号 農二進路指導部

期末テストまで一週間

「中間テストよりも科目が多くて、大変!」「主要五科目と他の科目との勉強時間のバランスが難しい!」と、一週間後に迫る期末テストに向けて焦りの声が聞こえてきます。前回は初めての中間テストでしたが、今回は初めての期末テストになります。期末テストは中間テストと違って、科目が増えます。音楽、美術、技術、家庭科、体育(保健)は生きていく上で大切な科目であり、なおかつ人生を豊かにする科目です。ないがしろにすることなく、全力で勉強して欲しいと思います。勉強する上で大切なのは勉強時間のバランスです。かたよりのある勉強はせず、試験のスケジュールを確認し、バランスよく、計画的に学習を進めてください。何度も言いますが農大二中の定期試験はある到達度まで到達するために勉強してもらうものであり、そして、その到達度を図るテストです。95人全員がある一定の到達度までは到達してほしいので、いかに抜け漏れをなくすか、そして、いかにできないことをできるようになっていかに焦点を当てて一学期最後の定期テストに向けてがんばってほしいものです。

ちなみに、本日期末テストの時間割が発表されました。今回の期末テストは4日間の実施となります。また、6月29日(木)は生徒自宅学習日ということで学校には登校せず、家での学習日となります。そして、土曜日からの通常授業となりますのでお間違えのないように。



期末テスト時間割

	26日(月)	27日(火)	28日(水)	29日(木)	30日(金)
1	社会	英語	代数	自宅学習日	理科
2	幾何	技術家庭	保健		国語
3		美術			音楽

テスト範囲も発表されましたがしっかり確認して、「聞いていません」、「そこはやっていませんでした」はなしにしてください。また、各教科で課題の提出物があると思いますので、教科係さんはクラスの生徒にもう一度提出を促すとともに、全員がしっかりと提出物を出せるようにしてください。前回の中間テストの際に悲しいことがありました。それは試験当日に提出する課題を当日までにせずテストが終わった後にやって、提出をした生徒がいたことです。当然テストができるはずもなく、テスト対策のための課題ではなく、提出のための課題となってしまいました。これはいけません。テスト前にやって、できるようになってほしいから学校から課題が出ているのです。どうか、同じ間違いをせず、必ずテストの前にやってほしいと思います。もし、課題をやって、それでもテストでできなかった場合はその問題がみんなの弱点になります。でも、やらなくてできなかったのならば、ただやらなかったらできなかっただけの問題ということになりますので、できなかったことの意味が違います。今後の対策の方法が違いますよ。がんばっていきましょう。



重要

令和5年度 中等部一年生 夏期講座のお知らせ

I期4日間(7月21日(金)、22日(土)、24日(月)、25日(火))とⅢ期3日間8月25日(金)、28日(月)、29日(火)に夏期講座を実施します。基本的には全員参加となりますので予定に入れておいてください。



テストに向けてケアレスミスをなくそう

最近の数学、英語の単元テストで「簡単な計算をミスった!」「+と-を間違えた(泣)…」「sが抜けていた(悲)」など試験の答案を見直して「えっ!何でこんなところで間違えているの?」「わかっていたのに…」とケアレスミスを連発し、落ち込む生徒がいます。その理由の多くは、うっかりミス(よく考えればわかるけどうっかりミスをしてしまった)、勘違い・思い込みミス(問題の読み間違えや最後まで読まずに解いてしまった)、または注意力散漫ミス(集中できず、注意力が散漫になってしまいミスをした)でしょう。テスト後に「先生~!ケアレスミスたくさんしてしまいましたあ」と嘆く生徒がいますが、その生徒の皆さんはそのミスを減らすために期末テストに向けて何か対策をしているのでしょうか?嘆いても現状は変わりません。何か対策を打つ必要がありますね。



まずは原因を知ることが大事。まず「うっかりミス」や「勘違い・思い込みミス」はなぜ起こるのでしょう?それは慣れや気のゆるみから確認を忘れたり怠ったりする、または、過信や慢心から脳が『正しい』と判断してしまうからです。冷静に見直しをすることでミスに気づくことができるでしょう。では見直しはどうやってするか?指差しをしながら、小声でつぶやき、写し間違いを防止する方法があります。英語の並び替え問題で順番は合っているのに転記の際にスペルミスで減点される生徒もたくさんいます。数学の計算問題を空いたスペースでする際に、+、-を間違えて転記するケースや数字を間違えて転記してしまうケースがあります。したがって、写したい文字を指で差し、その文字を小声でつぶやきながら慎重に書き写すという作業をする必要があるでしょう。また、簡単な計算ほど慎重にすることが大切です。ケアレスミスは計算プロセスで起こることがほとんどですので、簡単な計算だから暗算でも大丈夫という油断が一番危険です。ケアレスミスは心の隙があるから起こってしまうのです。

次に勘違い・思い込みミス。このミスをする生徒はおそらく問題の選択肢を選ぶ際に、自分が正しいと思ったことをすぐに選ぶ生徒です。これを「積極法」と呼ぶ人もいますが、見直しの際や最初に問題を答える際にあえて「消去法」にしてみるのがよいかと。つまり、間違いの選択肢を消して残ったものを解答するということです。そうすれば、勝手な思い込みをせずにすみます。また、問題文を勝手に解釈して変な解答をしてしまうことも多々あります。そんな時、設問の条件に印をつけて確認するという手もありですね。何を答えなければならないのか、設問を読みながら「重要」だと思った箇所に下線や印をつけておき、解き終えたら導き出した解答が条件を満たしているかを確認します。確認ができた条件から下線や印に『✓』マークをつけておけば、かなりケアレスミスが減らしていけるでしょう。



そして、注意力散漫ミス。これは意識次第でどうにでもなります。問題を解く際に一回一回深呼吸するのも手です。人間の集中力はそもそも長い時間持続しません。したがって意識的に休憩をとり、リスタートしながらやるという方法です。あとは家庭学習の際に時間を区切って、インターバルを取りながら短時間集中する演習や時間を測り自分なりになんらかのプレッシャーをかけながら行うという方法もあります。そして、集中するために何より必要なことは十分な睡眠と栄養のある食事です。心と体のケアをしっかりとすることで集中力が発揮できます。

いずれにしても、多くの生徒がケアレスミスで点数を失っているのは確かです。自分なりにミスの傾向性が違いますので、自分なりに解決策を考え、実践してみてくださいね。さあ、期末テストがんばっていきましょう。これが終われば、もう一学期の終わりはすぐそこです。

